

SHONAN ATSUGI HOSPITAL

2021 REPORT

**湘南厚木病院
年報**

2021 REPORT



目 次

I	ご挨拶	2
II	病院現況	
	病院概要	3
	施設基準	4
III	診療部報告	
	総合内科	5
	循環器内科	6
	外科	7
	肝胆膵・無輸血治療外科	8
	脳神経外科	10
	心臓血管外科	12
	整形外科	13
	外傷整形外科	15
	形成外科	16
	泌尿器科	17
	麻酔科	18
	救急科	19
	婦人科	20
	小児科	21
	耳鼻咽喉科	22
	皮膚科	23
	眼科	24
	ペインクリニック	25
	放射線科	26
	病理診断科	27
	健康増進センター	28
	内視鏡センター	29
	透析センター	30
	臨床研修センター（初期研修医）	31



湘南厚木病院 院長 黒木 則光

平成17年9月1日の開院から本年度で16周年を迎えます。昨年に引き続き、第2号の病院年報を発刊する運びとなりました。皆様方のご評価・ご指導を賜りつつ、当院が厚木市さらには県央二次医療圏において必要とされる病院を確立出来るよう職員一同精進してまいります。

当院は平成17年9月に新設された許可病床253床の病院です。救急を断らないという徳洲会の理念のもと、開院当初より内科・外科・循環器疾患に対応した救急医療・急性期医療を柱に地域医療の充実に尽力してまいりました。平成26年4月からは、外傷整形外科の診療体制が確立したことで多発外傷・重傷四肢外傷等の緊急手術等に対応する外傷センターを開設。同年9月には、早期の自宅復帰・社会復帰に向けた集中的リハビリテーションを提供する回復期リハビリテーション病棟(59床)も併設し現在に至ります。本年4月に整形外科専門医1名を新たに迎え入れ、外傷整形外科及び一般整形外科における手厚い診療が提供できる体制になりました。更には、地域医療ニーズに呼応すべく北里大学病院心臓血管外科チームと連携しながら同科での緊急手術にも対応出来るようになりました。現在では、厚木市・愛甲郡内唯一の心臓血管外科手術が提供可能な施設となり、24時間365日緊急手術に対応し得る体制を構築しています。本年1月の眼科常勤医師入職に伴い、白内障・緑内障・翼状片等の手術や網膜レーザー治療が可能となったことや皮膚科常勤医師も入職し患者数が増加するなど、診療科の拡充と併せて診療内容の充実に繋がっています。

また、当院は開院当初より新入職員教育にも注力してまいりました。研修医教育に関しては平成19年9月に臨床研修指定病院の認定を取得、「全人的な医師の育成」を目標に掲げ昨年までに計20名の初期研修修了者を輩出しました。今年度は、初期研修医9名(1年次:4名、2年次:5名)が日々切磋琢磨しながら研鑽を積んでいます。当院における「臨床研修の質」に関する外部評価を受けるべく、平成23年2月にNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)の評価を受審し認定も受けました。平成31年2月の更新審査では、当時全国(232病院認定)で7病院しか受賞歴のない「エクセレント賞」を全国8番目の病院として受賞したことは大変誇りに感じています。看護部・コメディカル・事務部においても職種毎に新人教育プログラムを作成し、年間を通して教養・基礎・臨床教育に取り組んでいます。更には、平成22年に組織全体の運営管理と提供される医療について評価をする公益財団法人日本医療機能評価機構の認定も取得しました。職員一人ひとりが各職種に応じた専門性を高めつつ、多職種参画型の良質なチーム医療の提供に邁進してまいります。

今年も新型コロナウイルス感染症との戦いは続きます。未だ終息の目処が立たないコロナ禍は、一般の社会情勢と医療環境に大きな変化をもたらしました。地域の医療情勢も考慮し、当院も発熱者外来・帰国者接触者外来・疑似症患者隔離対応病棟を設置して徹底した感染予防対策を図りながら急性期患者の治療に奮闘し続けることで、地域医療のさらなる貢献に努める所存です。

これからも地域の皆様に「安心・安全・良質な医療」を提供すべく、職員一同精進してまいりますので今後とも湘南厚木病院を宜しくお願い申し上げます。

運営法人	医療法人沖繩徳洲会
医療機関名	湘南厚木病院
所在地	〒243-8551 神奈川県厚木市温水118-1
電話	046-223-3636
FAX	046-223-3630
ホームページ	https://www.shonan-atsugi.jp
設立	平成 17 年 9 月 1 日
開設者	理事長 安富祖 久明
院長	黒木 則光
病院種別	一般病院
病床数	一般急性期病棟 160 床、HCU 10 床、回復期リハビリテーション病棟 59 床、 地域包括ケア病棟 24 床、
標榜診療科	内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・神経内科・外科・呼吸器外科・心臓血管外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・形成外科・腫瘍外科・「肝臓・胆のう・膵臓外科」・小児科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・病理診断科・救急科・麻酔科
構造/敷地面積	外来棟：地上3階／地下1階 延べ床面積：9,896.38 m ² 入院棟：地上7階／地下1階 延べ床面積：16,791.35 m ²
救急指定	二次救急指定病院（24時間体制）

■ 基本診療科

- 急性期一般入院料4（2階東・3階西・3階東・4階東・4階西）
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算、乳幼児救急医療管理加算
- 診療録管理体制加算2
- 医師事務作業補助体制加算1 25対1
- 急性期看護補助体制加算50対1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算2
- 医療安全対策地域連携加算2
- 感染防止対策加算2
- ハイリスク妊娠管理加算
- 総合評価加算
- 後発医薬品使用体制加算2
- データ提出加算Ⅱ
- 入退院支援加算2
- 認知症ケア加算3
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算2
- 地域医療体制確保加算
- ハイケアユニット入院医学管理料1
- 回復期リハビリテーション入院料3（5階西）

■ 特掲診療科

- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料
- 小児科外来診療料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料（救急搬送看護体制加算1）
- 外来リハビリテーション診察料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料（Ⅰ）
- HPV核酸検出及HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ）
- 検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅱ）
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 埋込型心電図検査
- 画像診断管理加算1
- ホジトロン複合断層撮影（PET-CT）及びホジトロン撮影（PET）
- 単純CT撮影（64列マルチスライスCT）及び単純MRI撮影（1.5テスラ）
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーションⅠ
- 運動器リハビリテーションⅠ
- 経皮的冠動脈形成術
- 呼吸器リハビリテーションⅠ
- 慢性維持透析1
- 導入期加算1
- 透析液水質確保加算
- 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- 慢性維持透析濾過加算
- 経皮的冠動脈ステント留置術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 腹腔鏡下肝（部分・外側域）切除術
- 腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
- 埋込型心電図記録計移植術
- 埋込型心電図記録計摘出術
- 大動脈バルーンポンピング法（IABP法）
- 医科点数表第2章第10部の通則の5及び6に掲げる手術
- 医科点数表第2章第10部の通則の16に掲げる手術（胃瘻造設術）
- 病理診断管理加算1

■ 特色・診療内容

当院内科では、外来、入院ともに総合内科を中心に診断、治療を行っています。高齢化が進み、単一の疾患や一つの臓器のみの病気だけではなく、様々な分野、臓器にまたがった病気が増えてきています。これらに対応するには、専門的な知識ももちろん必要ですが、それらを総合して診察、治療を行っていく、「総合内科」が必要不可欠となっています。当科入院患者様では、呼吸器疾患、消化器疾患、神経疾患、自己免疫性疾患、アレルギー性疾患、腎臓疾患など、疾患は多岐にわたっております。また、他院で原因不明とされていた方なども、積極的に診断、治療をおこなっています。

外来では、総合内科のみならず、診断がついた患者様は、各専門内科での治療、通院を行っていくことになります。

また、発熱外来も対応しており、コロナウイルスに対する検査も迅速に行っておりますので、ご心配な方は是非受診して下さい。

■ 診療体制

寺島 孝弘	部長 プライマリケア学会 指導医・専門医 消化器内視鏡学会専門医 救急学会専門医 脈管学会専門医 外科学会専門医
野溝 崇史	内科認定医
高畑 太輔	外科専門医 消化器内科学会所属
首藤 俊樹	内科認定医
松下 達彦	内科認定医

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	25,550	26,218	24,238	20,389
新入院患者数	825	954	856	616

■ 学術業績

【論文】

- 野溝崇史, 首藤俊樹, 寺島孝弘・他. Waldensetromマクログロブリン血症に伴う小腸白色絨毛、腸管リンパ管拡張症の1例. 657回日本内科学会関東地方会（会議録/症例報告）2020: p.41
- Song Jee Hoon, 野溝 崇史. 抗原再暴露後再発した夏型過敏性肺炎の1例. 657回日本内科学会関東地方会（会議録/症例報告）2020: p.71

診療部報告

■ 特色・診療内容

循環器疾患：虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）のカテーテル診断および治療、不整脈、心臓弁膜症、慢性心不全の治療をおこなっています。

近年患者様に負担の少ない低侵襲治療が注目されていますが、心臓カテーテル診断、治療の場合当科では上腕動脈または橈骨動脈から行っています。それにより、診断カテーテルの場合、一泊入院で済むことが可能となり、検査時間も20分程度と短縮されました。その他、閉塞性動脈硬化症やシャント狭窄、腎血管性高血圧のカテーテル治療も手がけています。

今後も湘南厚木病院 循環器科は日々進化する最新の医療を患者様に提供できるよう日々の循環器診療及び臨床研究に努めてまいります。

■ 診療体制

非常勤7名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	4,382	4,390	4,451	3,902

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診		○	○	○	○	○
午後診			○		○	

診療部報告

■ 特色・診療内容

当院外科では以下の分野を中心に、手術・治療をおこなっています。

- 1) 日帰り、または1泊の短期間入院による、鼠径ヘルニア手術
- 2) 腹腔鏡手術 胃癌、大腸癌など
- 3) 肝胆膵など、高難易度手術
- 4) 無輸血治療、手術
 - 1) 日帰り手術特に鼠径ヘルニアの治療に力を入れています。その中でも、創の小さい腹腔鏡手術を導入しています。傷は、1cmの傷が1か所、5mmの傷が2か所、で手術ができます。体の負担も非常に少なく、翌日からデスクワーク等であれば、仕事をされる方も多いです。
 - 2) 腹腔鏡手術 癌の手術においても、傷が小さく負担の少ない腹腔鏡手術を導入しています。胃癌・大腸癌の90%以上を腹腔鏡手術にて行っています。こちらも体のダメージが少なく、1週間での退院も可能となっています。
 - 3) 肝臓癌・膵臓癌・胆管癌など、消化器手術の中でも高難度とされる手術です。当院では、肝胆膵高度技能指導医の資格を持つ川元医師を中心に治療にあたっています。またこれらの手術は、予定手術であっても比較的出血が多くなります。何らかの事情で輸血を希望されない方には、無輸血での治療も対応しています。無輸血による肝胆膵手術が可能な施設は、日本国内でも非常に少なく、当院では専門で行っています。

■ 診療体制

黒木 則光	院長 外科専門医
川元 俊二	肝胆膵・無輸血外科 部長 肝胆膵高度技能専門医、消化器外科指導医・専門医 外科指導医・専門医
寺島 孝弘	外科部長 外科専門医、消化器内視鏡専門医、救急専門医、脈管専門医、消化器外科専門医
新 みゆき	外科専門医
山本 孝太	外科専門医

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
手術件数	531	740	677	554

手術内訳

	腹腔鏡	胃癌	大腸癌	肝胆膵
2019年	194	25	41	20
2020年	193	15	50	21

■ 学術業績

【論文】

1. 寺島孝弘・他. 術前化学療法後に膵全摘術で治癒切除しえた局所進行膵癌の1例. 癌と化学療法誌 2020.4; 47
2. 寺島孝弘・他. 胆管原発神経内分泌腫瘍に対して術前化学療法を施行した1例. 癌と化学療法誌 2020.4; 47

■ 特色・診療内容

2017年1月に開設。治療選択肢の中で無輸血を希望する患者さんのための外科治療を目的とした専門科。

従来、貧血が存在したり、出血が見込まれる手術をおこなう場合、輸血や輸血の準備を考慮するが、当科では輸血以外の方法を適用して術中と周術期の管理を安全におこなうことを専門としている。一般的に PBM(Patient Blood Management)と呼ばれるこの治療内容は、赤血球数を増やす増血療法や貧血下での慎重な全身管理、また出血を抑える手術手技や麻酔管理などが含まれる。

■ 診療体制

川元 俊二 肝胆膵・無輸血治療外科部長

日本外科学会認定医、専門医、指導医

日本消化器外科学会専門医、指導医、消化器がん外科治療認定医

日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医

外国人医師臨床修練指導医

寺島 孝弘 外科部長

日本外科学会専門医、日本救急医学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、

日本脈管学会専門医、日本消化器外科専門医 etc

新 みゆき 日本外科学会専門医

山本 孝太 日本外科学会専門医

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
手術件数	35	65	49	62
良性/悪性	14/21	25/40	13/36	17/45
消化管/肝胆膵/その他	9/20/6	26/28/11	18/23/8	27/27/8

【学会出席/発表】

1. 第68回日本輸血細胞治療学会学術総会 (誌上開催) (2020年5月29日)
PBM国際シンポジウム
「PBM (患者中心の輸血医療) ~その実際と展望. PBM~Clinical Practice and It's Future Prospects」
Modulator: with Prof. E. Sueoka
Lecturer:
Title: Practice of PBM in the field of Digestive Surgery
2. 第39回日本脳神経外科超音波学会総会 (2020年12月8日)
トピックス1 「今日の臨床におけるPBM (Patient Blood Management) の役割とその実践」
演者: 川元俊二

診療部報告

■ 特色・診療内容

1. 外来診療。入院診療不可
患者の要望に応じた診療を行う。

神経放射線画像検査の CT、MRI、脳 PET 等を用い、脳梗塞、脳出血、脳腫瘍等の頭蓋内器質的疾患を診断し、必要があれば適切に他医療機関に紹介する。

2. 物忘れ外来も行っており、アルツハイマー型認知症の前段階かどうかについて、認知機能検査とアミロイド PET 検査を用いて診断する。また認知症に対してアルツハイマー型認知症であるかどうかを診断する。
3. 脳梗塞再発予防に対する薬物治療、てんかんに対する薬物治療など脳疾患に対する薬物治療を継続的に行う。
4. アルツハイマー型認知症に対する薬物治療。
アルツハイマー型認知症治療薬開発のための新薬治験（臨床試験）実施中。
2021 年後半に承認・発売予定のアルツハイマー型認知症治療新薬の準備中。

■ 診療体制

畑下 鎮男 副院長・部長
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
PET 核医学認定医
医学博士

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診	○	○	○	○	○	

通常外来診療：月曜日～金曜日 午前 9:00～12:00

予約診療・当日診療可。臨時休診：有り、事前にホームページにて案内

夜間・時間外診療：不可、救急診療：不可

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年
アミロイドPET検査数	160	129	83
早期アルツハイマー型認知症治療新薬開発治験参加患者数	73	80	35

■ 学術業績

【学会発表】

1. Alzheimer's Association International Conference (AAIC17). In London, on July 2017.
Amyloid-b deposition and hypometabolism on the progression of Early-Onset Alzheimer's Disease.
Hatashita S and Wakebe D
2. Alzheimer's Association International Conference (AAIC20). In Virtual Event, on July 2020.
Longitudinal assessment of amyloid-beta deposition in initially amyloid-negative non-demented individuals with [11C]-PIB PET imaging.
Hatashita S and Wakebe D

【論文】

1. Hatashita S, Wakebe D (2017). Amyloid-b deposition and long-term progression in mild cognitive impairment due to Alzheimer's disease defined with amyloid PET imaging. *J Alzheimers Dis* 57: 765-773.
2. 畑下鎮男. アミロイドPETによるアルツハイマー型認知症の発症前診断と検診の展望. *臨床放射線* 2017; 62: 637-644.
3. Hatashita S, Wakebe D. (2019). Amyloid β deposition and glucose metabolism on the long-term progression of preclinical Alzheimer's disease. *Future Sci. OA* 5: FSO356. doi:10.4155/fo-sa-2018-0069.
4. Hatashita S, Wakebe D, Kikuchi Y, Ichijo A (2019). Longitudinal assessment of amyloid-beta deposition by [18F]-flutemetamol PET imaging compared with [11C]-PIB across the spectrum of Alzheimer's disease. *Front Aging Neurosci.* 11:251. doi:10.3389/fnagi.2019.00251.

【書籍】 (ebook)

5. Hatashita S. (2020). The Neuroscience of Dementia: Diagnosis and Management Methods of amyloid PET imaging and its application to Alzheimer's disease spectrum. In Martin CR, Preedy VR editors. *Diagnosis and Management in Dementia-Volume 1- 1st edition*. Elsevier B.V: Amsterdam: p 297-312.
6. Hatashita S, Wakebe D, Kikuchi Y, Ichijo A. (2020). Longitudinal assessment of amyloid-beta deposition by [18F]-flutemetamol PET imaging compared with [11C]-PIB across the spectrum of Alzheimer's disease. In Guerimi FG, Lim WS, Arosio B editors. *Frontiers in Aging Neuroscience, Frontiers in Neurology and Frontiers in Neuroscience*. Frontiers: p 204-211.

診療部報告

■ 特色・診療内容

当院は、現在、

- ・心臓血管外科専門医認定機構の関連施設（基幹施設は北里大学病院）
- ・胸部大動脈ステントグラフト実施施設
- ・腹部大動脈ステントグラフト実施施設
- ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設

として、認定を受け、日々診療をおこなっております。

先天性心疾患（複雑心奇形を除く）、虚血性心疾患、弁膜症、大血管疾患（ステントグラフト含）、末梢血管疾患と心臓移植以外の心臓血管外科治療をすべて当院で完結することを目標に致しております。また、内科的治療では対処できない重症心不全の患者さまに対しましては、基幹施設に協力していただき積極的に補助人工心臓の装着を考えております。

当科では、決して手術治療のみに固執するのではなく患者さまの術前状態とニーズに合わせ、患者さまやご家族とご相談のうえ患者さま1人1人に最適な治療法を追求して参ります。

■ 診療体制

心臓血管外科と循環器内科が一緒になって診療させていただいています。基本的に手術日は月・木曜日、カテーテル検査（アブレーション含む）は火～土曜日ですが、できる限りの緊急対応体制は敷いており、24時間365日対応できるようになりつつあります。定期外来は、心臓血管外科が火・水・金曜日の午前中、循環器内科が火～土曜日の午前中（水、金曜日は午後も対応）となっておりますが、緊急の場合はいつでも対応しています。常勤は、現在心臓血管外科1名ですが、患者様の安全を第一に優先して診療を行っています。

山本 信行 心臓血管外科部長
1999年北里大学卒
心臓血管外科専門医、修練指導者
外科専門医、指導医
脈管専門医

■ 診療実績

2020年は、コロナ禍による影響で、2019年より症例数は減少し、目標の40例/年には到達しませんでした。周術期死亡は1例認めました。厚木市内で、心臓血管外科を行っている病院は当院だけであり、これからも今まで以上に大動脈解離や破裂症例も積極的に受け入れていきたいと思っております。また、病病連携、病診連携を強化していければと考えております。2019年よりも院内の体制は整い、緊急の心臓カテーテル検査もほとんどお断りすることなく施行できるようになりました。また、2020年5月より不整脈に対するアブレーションも行っており、より多くの疾患に対する治療ができるようになってきました。2021年も今までの姿勢と変わらず、当院で手術を受けても安心して大丈夫と思われる成績と示していけるようスタッフ一丸となって頑張っていこうと思っております。そして、例年と同じではありませんが、一番は患者さんにとって、この病院で手術を受けて良かったと思っていただけることだと考えていますので、その点をぶれることなく、日々診療をして、地域に根ざしていきたいと考えています。

	2018年	2019年	2020年
開心術（TAVR含む）	28	33	30
腹部・末梢血管	25	23	22
その他	12	20	15
周術期死亡	1	3	1
心臓カテーテル検査	96	120	246
PCI	40	30	129
アブレーション	0	0	28

診療部報告

■ 特色・診療内容

令和2年3月より湘南厚木病院でお世話になっております整形外科32年目の杉本太です。着任から1年が経ち、大夫慣れてはきましたが、骨折の患者さん方から骨粗鬆症には問題が山積みになっていることを教えて頂きました。更に気を引き締めて頑張りますので、よろしくお願い致します。

【病棟】

- ① 他院・当院急性期病棟から引き継ぐ回復期病棟・地域包括病棟
整形外科及び回復期病棟の患者さん全員に対してDEXA法による骨密度測定を施行し、退院後の骨折予防に役立てるよう情報提供を継続して行う予定です。また、骨折手術後の患者さんも機能回復に役立てるよう配慮していきたいと思っております。
- ② 急性期病棟
脊椎圧迫骨折を中心とした保存的加療の適応の患者さんに一時的に入院して頂き、鎮痛処置を行い、リハビリへと繋げております。

【外来】

- ③ 一般整形外科外来
 - MRI、単純レントゲン、CT検査などにより患者さんの痛みの原因を正確に把握し、保存的に治療可能な骨折は固定や装具療法。変性疾患などは保存的に投薬・注射・リハビリテーションなどにより疼痛緩和や進行予防をはかります。
- ④ 骨粗鬆症専門外来
 - 2019年10月から骨密度測定装置を導入。
 - ① 骨密度DEXA法
 - ② 単純レントゲン評価(QM法・SQ法)による形態的椎体骨折(いつの間にか骨折)の有無やSingh分類(大腿骨頸部骨萎縮分類)
 - ③ 生化学検査(Ca,P,Alb,Crea)、骨代謝マーカー(PINP、TRACP-5b、UCOC、1-25VD等)患者さんの骨密度、骨代謝状態、も含めて正確に勝つ確実に骨粗鬆症患者さんを見だし、一人一人の患者さんに合わせたより有効且頼安全な治療を行うことに努めています。

■ 診療体制

杉本太 部長
日本整形外科学会専門医
医学博士

■ 診療実績

【新入院数】

一般整形外科

- ① 回復期病棟 6454人(2020年)、平均在院日数:44.2日
内訳(骨折<脊椎13件、大腿骨近位部28件、骨盤0件、その他0件>)、脊椎疾患5件、股関節疾患6件、膝関節疾患2件、その他7件)
- ② 地域包括病棟その他 158人(2020年)、平均在院日数:12.7日
内訳(骨折<脊椎6件、大腿骨近位部3件、骨盤1件、その他11件>)、脊椎疾患0件、股関節疾患0件、膝関節疾患0件、その他3件)

外来患者数

- ③ 一般整形外科（毎週月・火・水・金午前） 5512 人（2020.3.2～2020.12.31）
内訳（脊椎骨折 58 件、膝関節骨折 9 件、股関節骨折 13 件、上肢骨折 51 件、その他骨折 83 件、脊椎疾患 187 件、膝関節疾患 52 件、股関節疾患 14 件、上肢疾患 67 件、肩関節疾患 53 件、外傷性疾患 11 件、その他 243 件）
- ④ 骨粗鬆症 116 人（2020.7～2020.12.23 毎週水午後）今後更に骨粗鬆症外来枠を増やし骨折予防に務める所存です。

診療部報告

■ 特色・診療内容

2020年5月に着任しました。

様々な急性外傷疾患に対する診断・治療・リハビリテーションを含めた包括的な整形外科診療を行っています。今後、内容をさらに充実させるとともに、患者様の早期退院・早期社会復帰を目指します。

■ 診療体制

綾部 真一 部長

日本整形外科学会専門医

非常勤3名

■ 診療実績

2020年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
手術件数	21	25	28	15	24	20	30	24

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診	○ (予約)	○ (予約)	○ (予約)		○ (予約)	

診療部報告

■ 特色・診療内容

形成外科というとあまり馴染みがなく、美容外科や整形外科と混同されている方も多いと思います。当科では、挫創・熱傷などの体表面新鮮外傷や顔面骨骨折、皮膚・軟部組織の腫瘍などに対して治療を行っております。当科の治療のモットーは、様々な治療法の利点欠点を踏まえ、よく説明し、よく相談し、よく納得していただいた上で、その方にあった最適な手段で治療する事です。条件が合う方には、デイスージェアリー（日帰り手術）を積極的に取り入れ、時間的にも経済的にも負担の少ない治療を心がけております。

■ 診療体制

非常勤 3 名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	1,653	1,601	1,579	1,472

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診	○	○			○	
午後診	レーザー・ 小手術	(予約) リンパ浮腫 手術			レーザー・ 小手術	

診療部報告

■ 特色・診療内容

おおざっぱにいうと泌尿器科とは、オシッコをつくる腎臓、運ぶ尿管、溜める膀胱、出す尿道などの病気を担当する科です。

下記にあるような幅広い病気を最新で最良、そして安全性の高い医療を重視し、患者様中心の医療を行うことを心がけていきたいと思えます。

● 代表的な疾患

1. 泌尿器科腫瘍（腎がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣がん、陰茎がん等）
2. 腎不全治療（腎移植、血液透析、腹膜透析等）
3. 尿路結石（腎結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石）
4. 排尿機能障害（前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱、切迫性・腹圧性尿失禁等）
5. 尿路感染症（腎盂腎炎、尿管炎、膀胱炎、前立腺炎、尿道炎等）
6. 骨盤臓器脱（膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤等）

昨今、二人に一人はがんになり、三人に一人はがんでなくなるといわれており、当科では、特に、前立腺がんの包括的治療に力をいれていきたいと思えます。血液検査によるPSA（前立腺がんのマーカー）の測定、MRI 検査などによる画像診断、がんを確定するための組織検査を実施し、早期に前立腺がんを発見し、治療していきたいと考えております。

それと同時に、患者様にとって最も適した治療・診療を提供するため、積極的に他施設に連携をとって質の高い医療・納得のいく医療を心がけていきたいと思えます。

■ 診療体制

翁長 朝浩 部長

非常勤 4 名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	3,114	3,292	3,213	2,411

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診	○	○	○	○	○ (第3)	○

■ 特色・診療内容

手術室にて手術麻酔を行っています。当院の特徴として、主にエホバの証人の信者の方を対象とした無輸血治療を行っており、無輸血治療を希望する患者さんの術前評価を入念に行い、術中・術後を通して安全に治療が行えるように配慮をしております。心臓血管外科の手術にも積極的に関わり、通常の開胸手術に加えて血管内治療やカテーテルアブレーションの麻酔管理も行っております。御高齢の方に多い大腿骨頸部骨折の麻酔管理におきましても、術前評価を入念に行い、必要であれば術後は積極的に集中治療室にて管理を行っております。

当院で手術を受ける患者様すべてに対して、細かい術前評価に基づいた適切な麻酔管理を行い、安全に手術を受けていただける環境を整えております。

■ 診療体制

笠井 麻紀 副院長
日本麻酔科学会指導医
医療安全管理者

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
手術件数	1,257	1,341	1,326	1,086
全身麻酔件数	718	760	739	677

■ 特色・診療内容

当科は、地域密着型の救急病院として機能すべく、24時間365日オープンで地域の皆様が安心して暮らせるよう日々努力しております。厚木市はもとより、愛甲郡、綾瀬市、座間市、海老名市、伊勢原市といった周辺の市町村の地域の方への診療も随時受け付けております。

当院は、厚木市より救急告示医療機関の指定を受けており、急な症状で来院された方に対して初期診療を行い、緊急の入院が必要なのか、あるいは帰宅が可能なのか、また、手術や特殊な検査や処置が必要なのか、より高度な病院への転院が必要なのか、といった判断を救急診療にあたる担当医師が行っております。（アドバンスドトリアージといいます）

的確な診断や方針をたてるべく、放射線技師や臨床検査技師が24時間院内にて待機していますので、CT検査、MRI検査、超音波検査などの検査がいつでも可能となっております。

また、診察結果によって、緊急手術や緊急内視鏡検査も24時間対応可能となっております。

【ERで可能な検査】

心電図、超音波検査、放射線科の検査、検体検査等

【受診される方へ】

24時間、急な症状や怪我などの多様な患者さまへの初期診療を行っております。長年救急現場にたずさわっているベテラン指導医と研修医が担当しており、生命に危険があるか、機能予後に関わるような重大な疾患が隠れていないかといった、危険な疾患等を鑑別するための検査などを行います。

診察や検査の結果で、帰宅可能であれば帰宅し、当院の日中の専門外来や夕方の診療などでフォローします。また、かかりつけの病院やクリニックなどがあれば、そちらへ紹介状を作成してフォロー頂くこともあります。検査結果などで、さらに高度な診療や、当院で対応が困難な専門科の先生に診察していただくことが必要な場合、近隣の総合病院や大学病院などへ転院搬送する場合がございます。

■ 診療体制

安井 誠一 副院長・部長

日本救急医学会専門医

非常勤 4名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数（ウォークイン）	6,165	6,118	5,716	3,617
救急搬送件数	2,279	2,944	2,845	2,023

診療部報告

■ 特色・診療内容

4年前に産科を閉科し、初診での妊娠の診断以降、妊娠の再診はお受けしていません。ご不便をおかけしますが、産科施設への受診をお願いします。

婦人科領域はほぼすべての診断、治療を行っております。癌検診から悪性腫瘍、不妊症、遺伝相談、さらに性器脱に至るまで可能な限りの診療を丁寧に行っております。

内視鏡手術を含め、ほとんどの手術に対応して施行しております。尚、より専門性の必要な疾患については、適切な施設をご紹介します。

■ 診療体制

福田 良夫 部長
産科婦人科専門医
細胞診専門医
認定産業医
医学博士
松蔭大学看護学部講師

橋口 和生
産科婦人科専門医、指導医
臨床遺伝専門医
周産期・胎児専門医・指導医
医学博士
経営情報学修士

高梨 安弘
産科婦人科専門医
医学博士

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	4,522	4,047	3,948	3,076

診療部報告

■ 特色・診療内容

一般的な小児期の急性疾患全般、小児神経筋疾患・けいれん性疾患（てんかん、熱性けいれんなど）・小児期の発達障害（ADHD, ASDなど）、乳幼児健診（1ヶ月・4か月健診・8～9か月健診）、小児期の予防接種全般を行っている。

■ 診療体制

市堰 浩 副院長
本間 伸一郎 部長

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	6,594	6,044	5,133	2,481

診療部報告

■ 特色・診療内容

耳鼻いんこう科が担当する領域は「みみ・はな・のど」のみならず「めまい」など多岐にわたり検査、治療を行っております。

急性期などの疾患に対し、適宜受け入れを行い、加療を行います。患者さんに合った最善の治療を常に提供することを目標に行っていきます。

■ 診療体制

非常勤 3 名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	2,166	2,111	2,205	1,781

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診		○	○			○

診療部報告

■ 特色・診療内容

- 1, 日本皮膚科学会ガイドライン；当科では日本皮膚科学会が提唱しているガイドラインに準拠して治療をするように努めます。
例) ざ瘡、アトピー性皮膚炎、じんましん、痒疹、天疱瘡・類天疱瘡など
- 2, 病理組織学的診断；診断に迷うような皮膚疾患に対しては積極的に皮膚生検を行い、病理組織学的に診断を検討します。
- 3, 日帰り小手術；サイズが小さい腫瘍で、切除後に単純縫縮できる場合は日帰りで手術を行います。
例) 色素性母斑、血管拡張性肉芽腫、粉瘤、脂肪種、基底細胞癌、ボーエン病など
- 4, 冷凍凝固療法；一部の疾患については液体窒素を用いて治療します。
例) 脂漏性角化症、日光角化症、ボーエン病、円形脱毛症、結節性痒疹
- 5, パッチテスト；金属パッチテスト試薬、パッチパネル®を用いたアレルギー検査が可能です。また、患者の皆様が持参される日用品や化粧品などのパッチテストにも対応します。
- 6, アレルギーの血液検査；View39などのアレルギー検査を行います。薬剤アレルギーに対してはリンパ球幼若化試験で原因薬剤を検討します。
- 7, 通院点滴治療；入院の適応ではない軽症～中等症の皮膚細菌感染症は外来通院で抗生剤の点滴治療が可能です。
- 8, 当科で対応できないこと；①光線療法、②レーザー治療、③生物学的製剤の投与、④集中治療が必要な重症熱傷や重症薬疹（中毒性表皮壊死症など）、⑤植皮や皮弁形成術が必要となる大きな腫瘍の手術、⑥集学的治療が必要な悪性腫瘍（悪性黒色腫、扁平上皮癌、乳房外ベーチェット病など）

■ 診療体制

常勤男性医師（1993年卒、皮膚科専門医）1名

月曜日、水曜日、木曜日、金曜日の午前・午後

土曜日の午前

非常勤男性医師（2014年卒）1名

火曜日の午前・午後

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	2,220	2,141	2,345	2,408

■ 特色・診療内容

当院では手術経験豊富な専門医が患者様の御希望に応じて日帰りまたは入院で白内障手術を行っております。緑内障と白内障の同時手術(iStent)や選定療養による多焦点眼内レンズを使用した白内障手術にも対応しています。

検査機器は眼底3次元画像解析装置(OCT)や緑内障視野検査装置(オクトパス)など最新の装置を備えており、糖尿病網膜症や網膜裂孔などのレーザー治療には従来型のレーザー装置よりも痛みが少なく治療時間も短い、日本製の最新鋭パターンレーザー装置を使用しております。

これからも安心して受診して頂けますよう、鋭意努力してまいりますので、よろしく申し上げます。

■ 診療体制

高松 太 眼科部長

眼科専門医、CTR 認定医、iStent 認定医、ICL 認定医

非常勤 2 名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	924	1,201	1,466	1,183

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診	○	○	手術	○	非常勤 ○	
午後診	手術	予約	予約	予約	処置・注射	

診療部報告

■ 特色・診療内容

「ペイン」とは痛みという意味。「ペインクリニック」は、つまり痛みを専門的に治療する診療科です。

痛みは本来、からだを守るために必要なものです。痛みがある事により、体を休めたり、病院を受診しその原因をしらべ、取り除くことにより、命を守っています。しかし、体の警報装置としての痛みの役割は終わっているのに痛みだけが残り痛み自身が問題となっていることはよくあります。痛みさえなければ快適に生活できるのに、そんな時がペインクリニックの出番です。

ペインクリニックでは、主に神経ブロックを行い、治療をすすめていきます。

お薬を飲んだり、点滴で体の中に入れても、投与した薬は全身に広がり、患部にはほんの一部しか到達しません。特に脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアでは、患部は狭くなっているため、血流が悪くほとんど患部には到達しないのです。一方、神経ブロックでは、痛みの原因となっている患部に薬液を注入でき、効率的に治療できるのです。

他の治療法では、効果が得られなかった痛みにも効果がみられることがあります。痛みを悩まされている方は、ぜひ受診してください。

【神経ブロック】 神経根ブロック、硬膜外ブロック、星状神経節ブロック、肩甲上神経ブロック、腰部交感神経節ブロック、腹腔神経叢ブロック、ボトックス注射

■ 診療体制

非常勤 2 名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
外来患者数	758	1,181	1,306	1,337

■ 外来日

	月	火	水	木	金	土
午前診		○	○			
午後診		○ (予約)	○ (~15時)			

診療部報告

■ 特色・診療内容

放射線画像診断医は、外からは見えない体内の病気を CT、MRI やマンモグラフィー、PET-CT などの機器を用いて検査し、その結果を各科の医師に報告しています。

■ 診療体制

山田 盛久

放射線画像診断専門医

マンモグラフィー読影認定医

第 1 種放射線取扱主任者

PET 核医学認定医

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
CT	7,813	8,122	7,848	6,930
MRI	2,859	2,490	2,017	1,979
マンモグラフィー	866	819	1,280	869
PET-CT	1,685	1,232	1,035	971

■ 学術業績

【紹介文掲載】

1. 山田盛久. デジタルマンモグラフィが拓く乳癌診断の有用性. 「月刊新医療」2010.12

診療部報告

■ 特色・診療内容

生検・手術検体の病理組織診断

細胞・体液などの細胞診

病気で死亡された方について、生前の臨床診断がどこまで正しかったか、また治療方法の適否について検討するための剖検（病理解剖）

生検・手術検体に関しては、臨床医と病理医で週一度、その術前・術後のカンファレンス（検討会）を行っている。剖検症例については、全例について、CPC（臨床・病理検討会）を行っている。

■ 診療体制

清水 英男

病理診断科部長

病理専門医

■ 診療実績

	2018年	2019年	2020年
病理組織診断	1,473	1,495	1,183
細胞診	3,491	3,515	2,788
剖検	0	3	3

■ 学術業績

【書籍】

1. 清水英男. 肝類洞の立体構造を推測できる2次元指標. GlobeEdit. Mauritius. 2018

診療部報告

■ 特色・診療内容

湘南厚木病院健康増進センターは開院と同時に開設して以来、一般健診、職域（企業）健診、特定健診および人間ドックを中心に診療を行っています。

当センターでは、受診者の様々なご要望にお応えできるように、PET・CT・MRI 検査等の高度先進医療機器を導入した設備のもとで、多様な健診コースを選択することが可能です。今年度から「脂肪肝ドック」コースを新設予定です。

また、当院の内視鏡検診は静脈麻酔を用いて行うため、非常に少ない苦痛で検査を受けることが可能で、受診者の方々から大変ご好評いただいております。カメラを飲むのがつらくて検診をためられる方がいらっしゃれば、ぜひ当院での内視鏡検診をお勧めください。

昨今のコロナ禍で、健康診断をためらわれておられる方は多いと思います。当院の健康増進センターの入口は一般外来と分かれていて、換気や定期消毒も徹底しております。安心して受診して頂けるように患者様にお勧めください。

■ 診療体制

濱田 理一郎

日本内科学会総合内科専門医、日本消化器がん検診学会認定医、日本循環器学会専門医、
日本消化器内視鏡学会認定医

菅原 隆典

日本医学放射線学会

■ 診療実績

2.3月は推定

	2018年度	2019年度	2020年度
人間ドック	2,241	2,214	1,779
院内健診（一般）	8,835	9,130	7,031
院内健診（特定）	478	414	233
院内健診（企業）	2,068	2,047	1,664
院外健診	1,872	1,984	1,820

■ 展望

脂肪肝から発生する肝硬変・肝臓癌が近年増えています。今年度から開始予定の「脂肪肝ドック」コースでは、超音波検査と肝臓線維化マーカーを組み合わせることで肝臓の硬さを評価し、肝硬変や肝臓癌の発症リスクを評価します。ご興味があれば、お気軽におたずね下さい。今後も時代に即した検査や診療活動を取り入れて、より一層のサービス向上に努めていきたいと思っております。

■ 特色・診療内容

当科では消化器内視鏡専門医 7 名を含めた計 12 人のスタッフで内視鏡診療に当たっています。苦痛の少ない内視鏡検査をモットーに患者様のご希望に応じて、希望者全例に静脈麻酔による鎮静を行っています。特に大腸内視鏡検査の際は水浸法による内視鏡挿入や炭酸ガス送気により苦痛のほとんどない内視鏡検査を行っています。大腸ポリープ切除は日帰りで施行しています。検診・ドックの消化管検査の際などは上下部内視鏡検査を同時に行っておりますのでご相談ください。

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)について：これまで癌の治療といえば外科的手術が第一選択でしたが、健康診断や人間ドックで行われる胃カメラや大腸内視鏡検査の普及により、早期癌の発見率が増加し、より低侵襲な治療が選択できるようになりました。特に日本人に多い胃癌の分野で世界に先駆け内視鏡的粘膜下層剥離術が考案され、それまでの内視鏡的切除では一括切除が困難であった病変の切除が可能となり、2007 年に早期胃癌、2009 年に早期食道癌、2012 年に早期大腸癌がそれぞれ保険収載されました。当科においても術前診断、内視鏡的切除、根治度評価、胃癌の場合には根治的切除後のピロリ菌除菌、術後の定期的な経過観察まで責任をもって治療にあたります。

■ 診療体制

常勤 4 名、非常勤 9 名

消化器内視鏡学会専門医 7 名、消化器病学会 6 名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
上部消化管内視鏡	4,596	4,940	4,849	3,847
下部消化管内視鏡	1,919	1,634	1,573	1,139

■ 検査日

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○ (第 2.4)
午後	○	○	○	○	○	

診療部報告

■ 特色・診療内容

湘南厚木病院・透析センターは外来棟 2F にあり、25 床のベッドと 25 台のコンソール（内 3 台 HDF 可能）を有しており、血液透析療法を中心とした血液浄化療法を提供しています。

各ベッドにはテレビが設置してあり、男女別更衣室には個人用のロッカーを設置しております。主に慢性腎不全に対する血液浄化を行っておりますが、その他にも急性期や重症の患者さんに対する各種血液浄化や血漿交換療法等にも積極的に取り組んでおります。

また入院・手術が必要な合併症等の出現時には、当院各診療科の専門治療を受けながら透析を行うこともできます。

■ 診療体制

常勤 1 名、非常勤 1 名

■ 診療実績

	2017年	2018年	2019年	2020年
延患者数	10,794	9,379	8,570	9,937

■ 透析日

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○		○		○	

■ 概要

プログラムの名称	湘南厚木病院「断らない医師」育成・研修プログラム
研修管理委員長	黒木 則光
プログラム責任者	寺島 孝弘
募集定員数	1年次4名、2年次4名
指導医	12名
初期研修医	1年次研修医6名、2年次研修医3名（2021年2月1日現在）
研修理念	「生命を安心して預けられる病院・健康と生活を守る病院」の理念のもと、医師として人格を涵養し、基本的価値観（プロフェッショナリズム）および医師としての資質・能力を身に付けなければならない。研修医は将来の専門性にかかわらず、地域医療に貢献できる幅広い基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、患者さま中心の医療を実践し「断らない」医師を目指す。

■ 診療体制

- プログラム責任者：研修医から提出される経験録、実習記録から不足の経験を補うよう、研修医および指導医に助言する。
- 指導医：研修医を指導する医師であり、研修を行う病院の常勤医師であって、研修医に対する指導を行うために必要な経験および能力を有していなければならない。原則7年以上の臨床経験を有し、プライマリ・ケアの指導方法等に関する講習会（臨床研修指導医講習会）を受講していることが必須である。
- 指導者：病棟および外来の責任者、各コメディカル部門の責任者、各事務部門の責任者は評価やオリエンテーションなど指導する。

■ 採用実績

2018年度	2019年度	2020年度
4名	4名	6名

■ 学術業績

【論文】

1. Song Jee Hoon, 野溝 崇史. 抗原再暴露後再発した夏型過敏性肺炎の1例. 657回日本内科学会関東地方会（会議録/症例報告）2020: p.71
2. 野溝崇史, 首藤俊樹, 寺島孝弘・他. Waldensetromマクログロブリン血症に伴う小腸白色絨毛、腸管リンパ管拡張症の1例. 657回日本内科学会関東地方会（会議録/症例報告）2020: p.41

編 集 年報編集委員会

発 行 2021年4月
医療法人 沖縄徳洲会 湘南厚木病院
〒243-8551 神奈川県厚木市温水118-1
TEL 046-223-3636